



# 静岡で農業人になる。



何をしたら良いのか？

どこへ相談したら良いのか？

新規就農のための支援は？

新たに農業を始めたいと思っている方へ。

## 新規就農支援ガイドブック

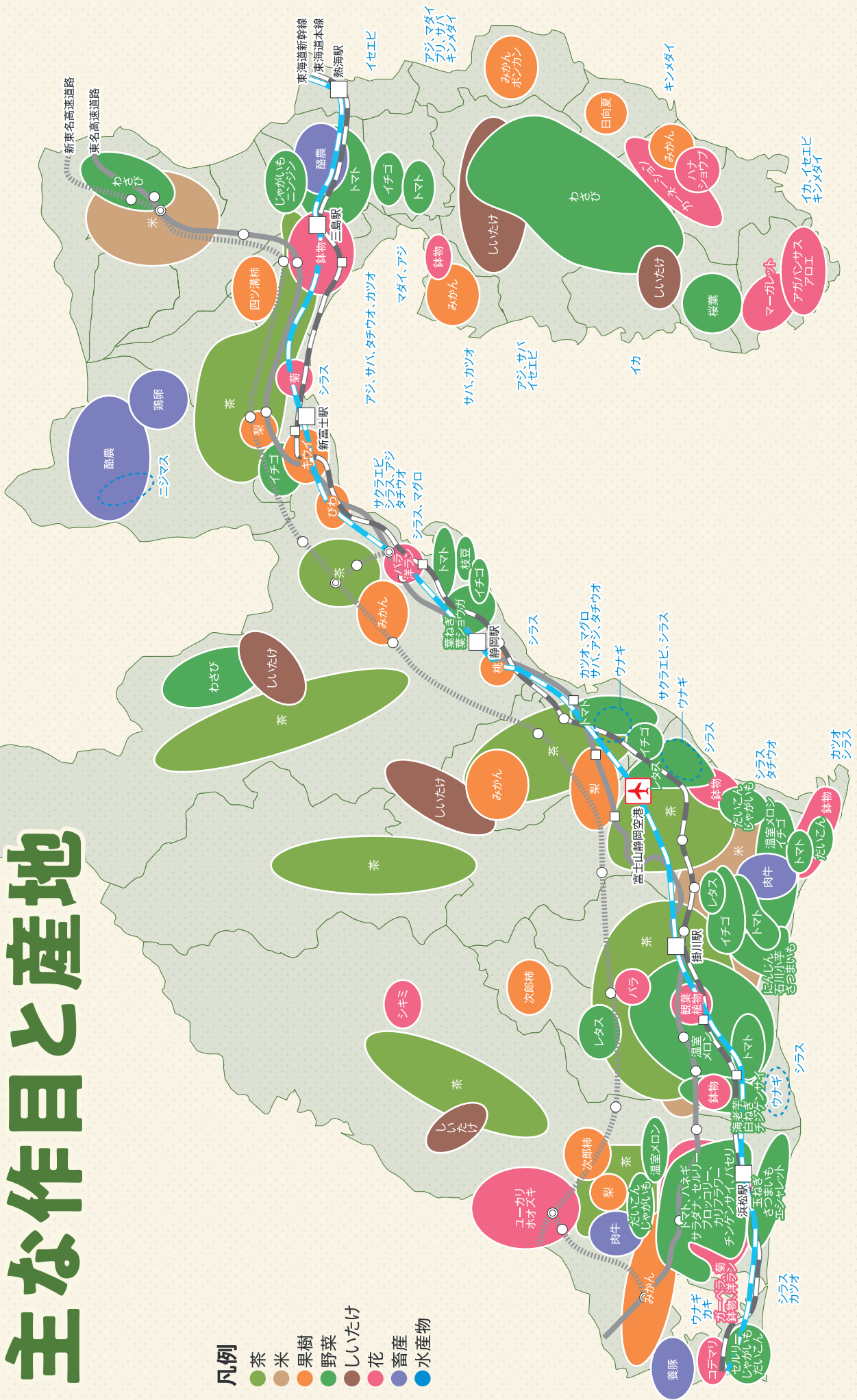
公益社団法人 静岡県農業振興公社

(青年農業者等育成センター)

# 静岡県内の農業の 主な作目と産地

## 凡例

- 茶
- 米
- 果樹
- 野菜
- しいたけ
- 花
- 畜産
- 水産物





農業は、自然を相手に生産活動をして自分の努力と判断で未来を切り拓いて行くことのできる素晴らしい職業で、やり方によっては無限の可能性を秘めていると言えます。

しかし、誰でもすぐに始められ、必ず上手くいくというものではありません。

以下のことを念頭に、十分に検討してみてください。

ポイント

1

就農

## 農業へのあこがれだけでは難しい

農業を始めよう  
と思った理由は  
何でしょうか？

- 都会の生活が嫌い、自然に囲まれて暮らしたい
- 植物や動物を育てるのが好き
- 組織の中で生きていくことが自分に合わない、人に使われるのが嫌い
- 時間に縛られた生活をしたくない

など、人それぞれ、農業に対する思いや動機があると思います。しかし、本当の農業の姿はどうでしょうか。まず、農業とはどんなものなのか知る必要があります。

### Q 農業は組織に縛られない？

#### A 農業は組織で活動する場が多い！

近年は、会社組織で企業的に農業経営をしている人もありますが、大多数は家族単位の経営です。このため農業者は農協などの組織で、資材をまとめて仕入れたり、生産物をまとめて出荷することで有利に販売したりしています。また、生産技術の研究や流通動向の把握など、一人ひとりでは限界があるため組織で取り組むことが必要になります。

#### A 農業をやるには「地域」の一員となることが大事です！

農業経営を始めるということは、農村や集落の一員となることです。農村では、土手の草刈りや農道、用水の利用に伴う共同作業など直接農業に関わるだけでなく、伝統行事や習慣など「地域」の一員として協力しなければならないことが多くあります。農村は閉鎖的だとか、よそ者を寄せ付けないとか言われますが、それは都会と違って農村では先祖代々その地に住み、都会と比べて住民同士の付き合いが多いからで、地域の一員として行事に参加したり、役割を担うことでいったん受け入れられれば、農業の面でも生活の面でもいろいろな場面で助けてもらうことが多いはずですよ。



### Q 時間は本当に自由になる？

#### A 農業は天候や季節により時間に縛られることも多い！

農業というと自分で自由に時間が使え、「晴耕雨読」の生活が送られると思う人もいるかもしれませんが、実際には「農業は忙しい」というのが実情です。例えば、昼間収穫した農作物を翌日の集荷時間に間に合わせるため、夜遅くまで調製・荷造りしたりというようなことも多いのです。

新規参入した人で「サラリーマン時代は残業ばかりで、それがいやで農業を始めたが、かえって農業の方が残業が多い」などという声もあります。

また、農作業は時期を逃したら取り返しがつかなくなってしまうものもあります。作物の特性や天候の関係で一時期に集中的に作業をしなければならないことも多いのです。

### Q 作物や家畜が好きなら農業はできる？

#### A 農業経営には、幅広い知識が必要となります！

農業をやるには植物や動物を育てることや畑仕事が好きということは重要な要素です。しかし、農業を経営していくためには、ただ単に作物の栽培や家畜の飼育のことだけを知っていれば良いというものではありません。例えば、機械の扱い方や修理のこと、販売や仕入れの駆け引き、さらには税金や農地の法律など幅広い知識が必要となります。

### Q 本当に農業で生活できる？

#### A 当面の生活は楽ではないと考えておきましょう！

日本の農業は、農産物の輸入自由化などにより、外国との価格競争に入っています。このような中で農業を経営していくためには、いかに高品質で、付加価値の高いものを作って売るか、また、いかにコストを下げていくかなどがポイントであり、ベテランの農業者でも苦労しているのが実情です。

こうした状況の中で、新たに農業を始めるのですから、すぐに多くの収入が得られるとは限りません。

ある程度の経験を積み、農業の技術や知識を得るまでには時間がかかることを覚悟した方が良いでしょう。

また、農業はサラリーマンと違って、始めたらすぐに収入が得られるというものではなく、生産物を出荷して初めてお金が入ってきます。それまでの間は無収入になりますので、当面の間生活できるだけの蓄えは最低必要です。







## 家族の理解が必要

農業を始めることに家族の理解はありますか？

特に結婚している方にとって、配偶者の理解はとても大切なことです。農業は農作業での役割分担、経営管理と家計の分担など、夫婦で協力することが大きな力になります。また、子供のある方にとっては住むところも問題です。学校や病院が近くにあるかどうかなど家族の理解を得なければなりません。

独身の人にとっても親などの理解は重要です。精神的な支えや資金的な援助を受けたり、融資を受ける場合の保証人となってもらったりということが考えられるからです。



## 具体的な計画を持つ

農業を始めるに当たり、自分が将来どのような農業をやりたいのかを明らかにしておく必要があります。漠然と「農業をやりたい」というだけでは、具体的な行動につながりません。

自分がどのような作物をどのような方法で作りたいのか、場所はどの辺りでやりたいのかなどを明確にしていくことが農業を開始するための基本です。

勿論、初めは全く知識が無いでしょう。そこで書物を調べたり、いろいろな人に話を聞いたりすれば、段々と自分の目標が絞られて行くでしょう。

### Q どのような作目で就農しようか？

**A** 新規就農する作目の初期投資額、栽培環境、経営収支などの特性を知ることが必要です！

新規就農する作目を決める時に、自分が好きな食物で選定する方がいますが、それはそれでひとつの方法ですが、農業経営を行うには、その作目の特性を理解した上で選定する必要があります。作目を大別する方法として、ハウス、温室などの施設の中で栽培する施設園芸作物とそれらの施設を使用しない露地作物、畜舎などで飼育する畜産物があります。

本県の施設園芸作物には、イチゴ、トマト、セルリーなどの野菜や花きなどがあり、就農時にハウスの建設やハウス内装備など多くの初期投資が必要になります。栽培環境はハウス内のため雨天でも農作業が可能です。露地作物に比べて少ない面積でも農業経営をスタートすることができます。





露地作物としては、タマネギ、シロネギ、レタス(トンネルが必要な時期もある)などの野菜や果樹、水稻、お茶などがあり、作物により異なりますが、トラクター、管理機などの農業用機械が必要になります。施設園芸作物に比べると一般的には初期投資を抑えることができますが、施設園芸作物より多くの面積の農地が必要になります。

畜産物には、酪農、養豚、採卵鶏などがありますが、畜舎、堆肥舎などの建設に多額の投資が必要になります。

新規就農するには、資本装備や経営費など多種類の経費が必要になりますので、できるだけ初期投資額を抑えることが好ましく、中古のハウス等施設や農業用機械を利用するのも経費節減の方法となります。

取り進む作目が決まれば、農地をどうするか、資金はどの位かかるか、それをどう調達するか、技術を習得するにはどうするかなどの具体的な相談や検討をすることができます。

ポイント

4

就農

## 農業法人等への就職の道も・・・

すぐに就農することが困難な場合は、会社組織などで農業経営を実施している「農業法人」などに社員として勤務する形で農業に従事していくことも考えられます。

農業法人等に就職しながら技術力を高め、将来的には法人の構成員として経営に参画したり、法人の一部門を担う形で将来、独立するなどの方法で農業経営を行っていくことが考えられます。

### Q 農業法人等はどのように探しますか？

**A** 会社のホームページや県下JAグループ求人サイト、ハローワーク、全国新規就農相談センター等で求人募集をしています！

農業法人等は、自社のホームページで募集をしたり、静岡県下JAグループ求人サイト「しずおかの農業で働こう！」や公設のハローワーク、全国新規就農相談センター等を利用して求人募集を行っています。静岡県農業振興公社(静岡県青年農業者等育成センター)に設置してある無料職業相談所の「ハローアグリしずおか」でも県内の農業法人等の求人情報を提供しています。

